



謹んで新春の

およろこびを

申し上げます

特定非営利活動法人

通院介護センター「さわやか」

理事長 江頭博幸

昨年は、『災』という漢字が、一年の言葉になりました。

さて、今年はどうなるのでしょうか？
国土交通省は、昨年「移送サービスガイドライン」を発表し、有償ボランティアに規制をかけてきました。

北九州市によると、「さわやか」は、無償ボランティアになるのではないかと、言っています。市からの助成金を受けている。タクシー料金の半額以下の費用であること。費用が、一律であること。以上三点が、無償ボランティアの条件に合うこと。難しい条件をクリアしなくても良いようです。

新年から、明るいニュースです。今年の十月で「さわやか」は十年目に入ります。十年一昔とはいいますが月日がたつのは、早いものです。

職員一同、今年も頑張りますので、皆様との昨年にお預かりいただき、ご支援ご協力宜しくお願い致します。

新年を迎えて

福岡県腎臓病患者連絡協議会

会長 塩屋 利且



新年明けましておめでとうございます。

我が国も高齢化社会に突入し、十年が経ちましたが、私たち透析患者も例外ではありません。透析治療の長期化により通院に支援を要する患者の増加は避けられません。福腎協としても、透析患者の通院送迎に適した方法を研究しているところですが、未だ解決をみず、家族による送迎やタクシー等で通院している現状であります。

北九州市においては、平成八年全腎協の呼びかけで福腎協北九州市腎友会による通院送迎事業「さわやか」を設立し、当時、全国の腎友会の注目を集めた出来事は記憶に新しいものであります。設立後は、NPO法人を取得し、江頭博幸理事長を軸としてスタッフ及びボランティアとの連携を確立し、通院送迎が円滑に行われ、行政はもとより、

名実ともに社会に認められる事業所となりました。

私は、昨年「さわやか」主催の三県合同ボランティア研修交流会に出席する機会を得ました。シンポジウムのなかで、ボランティアは、常に安全に留意し、利用者にも喜んでもらえる事をやりがいとして、コミュニケーションの中で会話による励ましやストレスの解消に努力していると述べられました。

私は、福腎協の運営に携わる者として頼もしく、その精神に感銘し、利用者側の心構えを改めて考えさせられた事を未だに忘れることはできません。

今後とも、ボランティアの皆様にはご健勝で、これからもご支援、ご協力を心より願うところであります。

福腎協として、これからも各事業所との協力関係を維持するとともに事業所の更なる成長と皆様のご健勝を祈念し、挨拶と致します。



事務局より

新年明けまして

おめでとう

ございます



昨年は、新潟中越地震やスマトラ島沖大地震など思いもよらない災害に、世界が震え上がりました。現在もまだまだ被害が広がっている中、二週間ぶりに救出された青年の報道に少しホッとさせられました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。今年は、平穏な年であってほしいと思うばかりです。

さて、「さわやか」は今年十年目という節目を迎えます。ボランティア様をはじめ、これまで応援していただいた全ての皆様のお陰と感謝いたします。国土交通省の「移送サービスガイドライン」など超えなければならぬハードルが、たくさんありますが、「前進あるのみ！」でがんばります。本年も宜しくお願いいたします。

事務局始動

1月7日に八幡事業所にて17年度の年間行事の予定会議を行いました。



右記を予定しています。また、間に「さわやか座談会」も行う予定です。研究会・学習会の内容は未定です。意義ある研修会ができるよう努力いたしますが、ボランティア様も要望などありましたら是非ご提案ください。決定次第、ご案内をさせていただきますのでご参加よろしくお願いたします。

- 《五月》
総会
- 《六月》
ボランティア学習会
- 《七月》
三県合同研修交流会
(佐賀県予定)
- 《十月》
ボランティア
研修交流会
- 《二月》
研修交流会

いつくるかわからない災害に備えよう!!

家族と話し合おう

地震などの災害は、いつ起こるかわかりません。もしもの時、待ち合わせ場所や連絡先など家族で話し合っておきましょう。その他、「NIT災害用伝言ダイヤル」が役に立ちます。これは、171にダイヤルする方法で、家族の安否情報を知ることができます。

日頃の備え

慌てている時でも取りやすい場所に「持ち出し袋」を準備しておきましょう。袋の重さは、男性が十五キロ、女性は十キロ程度が良いといわれています。

持ち出しグッズ

阪神・淡路大震災で実際に役に立った
グッズベスト20

- 1 懐中電灯
- 2 食料品 (缶詰・乾パン)
- 3 ラップ
- 4 ビニール袋
- 5 小型ラジオ
- 6 トイレットペーパー
- 7 電池
- 8 ウェットティッシュ
- 9 手袋・軍手
- 10 小銭
- 11 使い捨てカイロ
- 12 カセットコンロ
- 13 下着
- 14 薬
- 15 紙コップ
- 16 飲料水(ペットボトル)
- 17 アルミ箔
- 18 紙皿
- 19 生理用品
- 20 帽子

その他

保険証、通帳、筆記用具、雨具、裁縫用具、レジャーシート、ロープ、キャンプ用品、スニーカー

全腎協「災害手帳」より抜粋

編集後記

今年は数年ぶりに雪のお正月となりました。外出を中止された方は残念でしたが、雪をみながらおせちを食べるのもいいものではないでしょうか。おせち料理の数の子や黒豆・田作り等々それぞれ意味があるのはご存知だと思います。また、かるたとり・凧揚げ・福笑い・羽根突きといえは正月あそびの定番でしたが、最近には目にするとも少なくなってきました。昔から伝承されてきた遊びにも意味があるそうです。たとえば、「羽根突き」は羽根をたくしぐさが虫を追っ払っているように見え、追羽根の形をトンボに似せているのは、トンボが蚊やハエを食べるので、子供を害虫から守ると思いいもとづいているようです。遊びの中にも大切な子供を病害虫から守る深い親心なのでしょうね。

